



## 基礎研究

複合領域／人文学／社会科学

所属 人間科学部 児童学科

所属研究室 保育学・発達学 研究室

オオノ カズオ

大野 和男 教授

研究者  
情報

キーワード

集団と個の発達、自我発達

### 研究内容と目指すもの

1. 保育者を目指す方がどのように「保育者になっていく」のかについて研究している。保育について学び、保育者として働く中で、子ども観・保育観がどう変わっていくのかを追跡している。
2. 子どもたちが幼稚園に入園し、卒園するまで、クラスの中で友だちと関わり合いながら、成長する過程を検討している。担任の先生に子どもたちの様子をお聞きすることで子どもたちの発達の様子を明らかにしようとしている。

### 最近の研究テーマ

#### ニュージーランドにおける乳幼児期の保育観の心理学的貢献

ニュージーランドの保育は、OECDによって、世界の優れた保育の5つのうちの1つに挙げられている。1986年に、幼保一元化が実現され、アセスメントツールであるラーニング・ストーリーが日本でも紹介されている。ニュージーランド独自の幼児教育カリキュラムである「テ・ファーマーリキ」は、マオリとパケハ(ヨーロッパ系白人)の二文化主義・二言語主義を徹底して貫こうとしている。その背景にあるのは、文化心理学の影響が大きいと思われる。



### 相談に応じられるテーマ

- クラス集団の形成過程における保育者の役割
- 小学校への移行期における保育者・保護者・子どもの心的状態
- 保育者アイデンティティの形成過程

### 外部資金

### 知的財産権・関連論文情報・著書

#### 関連論文情報

- 大野和男(2018)進路決定における保育実習・教育実習の重要性と実習時のリアリティ・ショック, 鎌倉女子大学紀要, 25, 35-48
- 大野和男(2013)クラスメートとしての「気になる子ども」, 鎌倉女子大学紀要 20, 49-57
- 大野和男(2012)年少児クラスにおける「朝の会」の進行過程, 鎌倉女子大学紀要, 19, 1-12

#### 学会発表

- 大野和男・間宮美奈子(2016)保育者養成におけるアクティブ・ラーニングの試み1:「保育力育成ワークショップ」における学び, 日本保育士養成協議会第55回研究大会

#### 著書

- 大野和男(2017)「第2章 保育における言葉の発達」, 内藤知美・新井美保子(編著)『保育内容言葉』, 建帛社